


## 施工説明

### 8) 使用前に確認する

- 取付状態・点灯状態を確認してください。  
(動作確認方法)

- ① ブレーカー、室内スイッチをONにしてください。

⚠ 警告	
	壁スイッチは常にON状態でご使用ください。 誤動作の原因となります。

- ② 1)電源投入直後(停電復帰直後)から、約30秒間、周囲の明るさ(照度)に関係なく強制点灯となります。  
※センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。
- 2)その後、約30秒間、テストモードに入ります。周囲の明るさに関係なく人体を検知すると約10秒間照明が点灯するので検知エリアを確認してください。
- 3)テストモード終了後、自動的に設定モードに入ります。  
※出荷時のスイッチ設定は動作設定ツマミが「ON/OFF」、点灯照度設定ツマミが「切」、点灯時間設定ツマミが「10秒」となっています。

(動作設定ツマミ、点灯照度設定ツマミ、点灯時間設定ツマミについては「各部の名称」並びに別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

## 取扱説明 お客様へ

- ご使用前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

### ご使用方法

通常は室内スイッチをONにした状態でご使用ください。

室内スイッチが「ON」の時	1. 周囲が暗くなると8hタイマーモードの時は8時間、12hタイマーモードの時は12時間の点灯状態の後、消灯状態になります。ON/OFFモードの時は、消灯状態のままです。 2. 人を検知すると点灯状態になります。 3. 設定時間(10秒・1分・3分・10分)点灯した後、消灯状態になります。 4. 周囲が明るくなると消灯します。(人を検知しても照明は点灯しません。)
室内スイッチが「OFF」の時	1. 周囲が暗くなっても、人が近づいても、全く反応せず、消灯したままです。

- 強制点灯をさせたい場合は、強制オン機能をご使用ください。(別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。)

- 検知範囲は別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

- 人感センサーのご使用方法については、別紙「人感センサーの取扱説明書」を参照してください。

### ご使用上のご注意

- 室内スイッチ・ブレーカーを操作した後、約30秒間は動作が安定しません。(センサーが安定するまでの時間で故障ではありません。)
- ランプ交換、または掃除をする時は、室内スイッチまたはブレーカーを切って、電源が切れたことを確認してから行ってください。
- 検知範囲に犬や猫が入った場合、動作することがあります。(体温を感じて反応するもので、故障ではありません。)
- 季節などの温度変化により、検知範囲が多少変化することがあります。(センサーの検知方式によるもので、故障ではありません。)
- 人体検知レンズが汚れたり、ほこりがたまったりすると動作しにくくなります。柔らかい乾いた布などで定期的に掃除してください。(シンナー、ベンジン等の薬品は絶対に使用しないでください。)
- 器具に殺虫剤等をかけないでください。カバー、グローブ等の落下・変質・変色の原因となります。
- ランプ交換の際、取扱いは交換ランプのケース表示に従い正しく行ってください。
- 故障と思われた時は、次の点をお調べください。

症状	点検箇所	次の点をお調べください。
自動点滅しない	室内スイッチ	●ONになっていますか？
	電源	●ブレーカーが落ちていませんか？
	照明器具	●ランプが切れていませんか？ ●適合ランプを使用していますか？
	人体検知レンズ	●汚れたり、ほこりがたまっていますか？

- センサーの動作がおかしい時は、別紙「人感センサーの取扱説明書」、7ページの「修理を依頼される前に」を一度確認してください。

### 保証について

1. 保証について  
この商品の保証期間は1年です(安定器は3年)。但し、ランプ等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。  
※保証期間の例外  
24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
2. 保証書について  
保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。
3. 補修用性能部品の保有期間  
弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。  
補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

### 点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

#### (1)点検項目

- ・ランプが切れていませんか。
- ・正常に点灯しますか。
- ・スイッチは正常に切り替りますか。
- ・天井との取付部、各部位の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。
- ・可動部は異常なく動作しますか。
- ・異常な臭い、音、発熱はありませんか。
- ・ガラス、プラスチック部品等に、ひび、割れ、変形等が発生していませんか。

#### (2)清掃

器具やランプにホコリがつくと、明るさを損なうばかりか、器具自体の寿命を短くします。

清掃箇所	清掃方法
金属メッキ処理 金属塗装処理	傷つきやすい部分ですから、柔らかい布で1~2回軽く拭いてください。
アクリル プラスチック	薄めた中性洗剤を使用し、洗剤が残らないようによく水洗いしてそのまま乾かしてください。乾いた布で拭くと静電気が生じ、ホコリがつきやすくなります。(但し、金属部は除く)
木・竹・藤 布・和紙	こまめにハタキや柔らかいハケ、ブラシでホコリを落とし、目の細かい柔らかい布で軽く拭いてください。
ガラス	中性洗剤またはスプレー式ガラスクリーナーを使用したのち水洗いし、自然乾燥してください。消しグローブは素手でさわると指紋がつきます。ゴム手袋等を使用してください。

※ガソリン、シンナー、みかき粉、サンドペーパー、たわし等は使用しないでください。

#### 2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または当社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

照明器具の機能・性能等のお問合せは、下記までお電話ください。

**CSセンター (0570)003-937(ナビダイヤル 全国共通)**

受付時間(月~金曜)9:00~17:00 土・日・祝祭日、夏季、年末年始休業日は受付しておりません。



大光電機株式会社

# 施工・取扱説明書

保存用

品番











DP-34499・DP-34501・DP-36597



このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

- ご使用前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。
- 施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は大切に保管してください。

## 安全上のご注意

⚠ 警告		取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負うことが想定されます。	
⚠ 厳守	 この器具は天井埋込専用的人感センサースイッチです。指定場所以外には取付けないでください。火災・落下の原因となります。	 禁止	器具にその他の荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。火災・感電・落下の原因となります。
		 禁止	屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。また、器具の取付部を除く外かくが、造営材・ダクトに直接触れないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。
⚠ 厳守	 器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。	 分解禁止	器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下・転倒等の原因となります。
		 厳守	電源電圧は、器具銘板または本説明書に記載されている定格電圧でご使用ください。過電圧を加えるとランプ寿命が短くなるほか、部品が過熱し火災・感電の原因となります。
 禁止	周囲温度5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。	 厳守	煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または当社「CSセンター」にご相談ください。
 禁止	器具の直下や近くでは、火気等を使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。		 厳守

⚠ 注意		取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定されます。	
 厳守	電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。	 注意	●照明器具には寿命があります。 ●設置して8~10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。 ●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。 ●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。 ●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

## 施工説明

## 工事店様へ

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

## 仕様

- 屋内天井埋込専用的人感センサースイッチです。
- マット敷工法〔住宅用人工造鉱物繊維断熱材(JISA9521)〕で断熱施工された天井に使用できます。
- 取付金具(2個)取付専用器具です。
- 当社指定の器具と正しく組合わせてご使用ください。

品番	DP-34499・DP-34501・DP-36597	
定格電圧	交流 100V	
適合負荷(別売)	白熱灯(ハロゲン含む) 蛍光灯 銅鉄安定器(低力) インバータ 電球形蛍光灯	300Wまで 100Wまで 32Wまで 60Wタイプ 3個まで 100Wタイプ 3個まで
点灯照度	暗・明・切 (15lx)(45lx)(1000lx)	
点灯時間	10秒・1分・3分・10分	
動作	ON/OFFモード・8時間タイマーモード・12時間タイマーモード	
強制オン時間	8時間	
検知距離	天井高さ約7mまで	
器具重量	約0.2kg	
電源接続	端子台	

大光電機株式会社

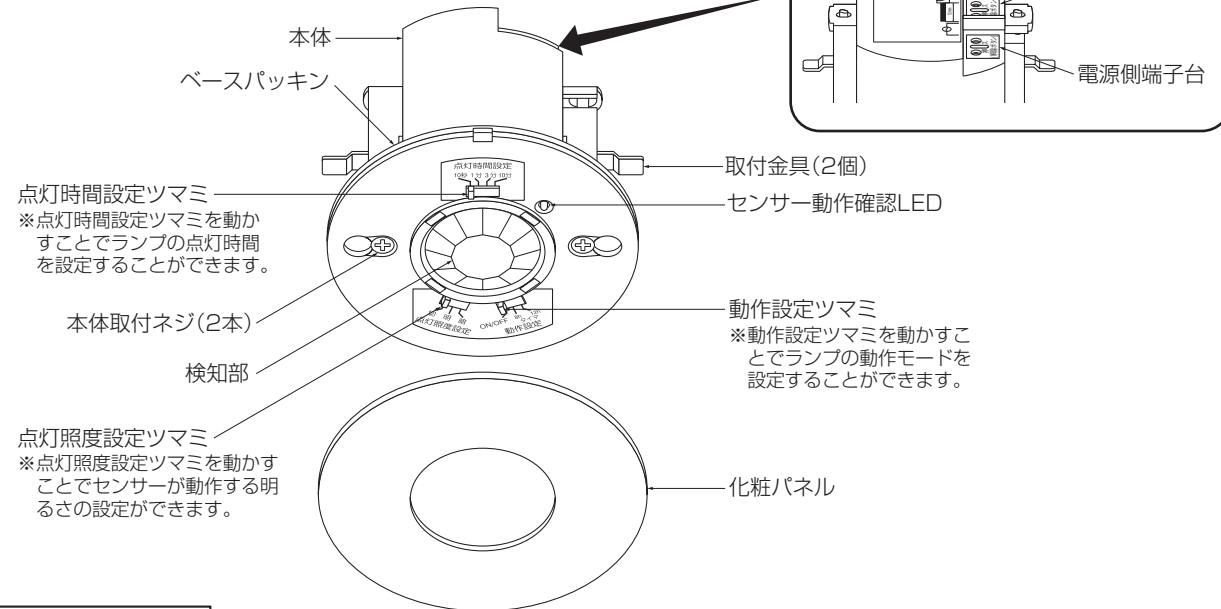
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

01-34499-D

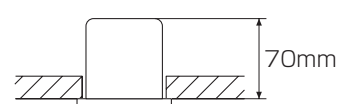
## 施工説明

### 各部の名称

※下図は、簡略した図です。



#### 埋込必要高



#### 付属部品



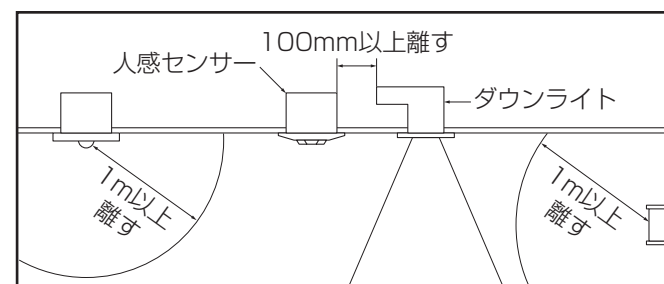
### 警告

**この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。**  
水ぬれ 火災・感電の原因となります。

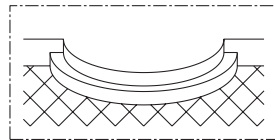
指定以外の照明器具には使用しないでください。また、電動機器、空調機器などの制御には使用しないでください。誤動作によるけがや事故の原因となります。  
HID器具、リモコン内蔵器具及び調光器への接続は出来ません。

### 1 取付け前の注意事項について

- 日光、ヘッドライトなどの強い光があたる場所は避けてください。
  - 風の強く当たる場所(エアコンの吹き出し口付近)への設置は避けてください。
  - ガスコンロなどの熱気をあびる場所、風呂場などの高湿度となる場所は避けてください。
  - 配線の際は、必ず電源を切ってから行ってください。
  - 電源側と負荷側の結線は絶対に短絡させないでください。
  - 高温や振動の激しい所、一般通常環境以外の所には取付けないでください。
  - 器具重量に対する取付箇所の強度が十分かどうか確認してください。
  - 負荷側は適合負荷を守ってご使用ください。
  - 照明器具から1m以上離れた場所に取付けてください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)
  - ダウンライトのそばに取付ける場合は100mm以上離れた場所に取付けてください。
- ※但し、天井面よりランプが下に飛び出しているダウンライトは1m以上離してください。(検知エリアに照明器具の光が入らないようにしてください。)



- ロックウール等のやわらかい天井及び珪酸カルシウム板の天井に取付ける場合は、必ず器具の取付金具又は取付パネと天井の間に補強材(鉄板、木片等)をいれてください。
- 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。取付面の乾燥が不十分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 表面に1mm以上の凹凸のある天井はザグリをし、平らにしてください。凹凸のある天井にそのまま取付けると、光モレ・気密性の低下の原因となります。



### 警告

**壁スイッチは必ず設けてください。動作点検確認の為、必要です。**

### 2 天井面を確認する

- 天井の埋込穴がφ75±2mmが確認してください。
- 天井の器具取付面の厚さが1~35mmが確認してください。

埋込穴  
φ75

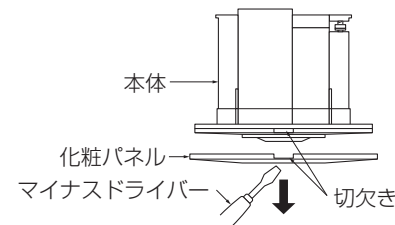
### 警告

指定の取付可能天井厚・埋込穴寸法以外の天井には使用しないでください。落下の原因となります。

## 施工説明

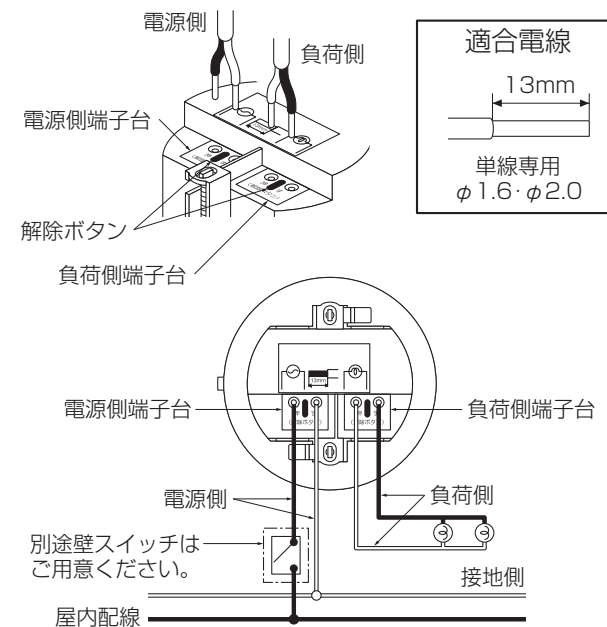
### 3 化粧パネルを取外す

- 化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から化粧パネルを取外してください。



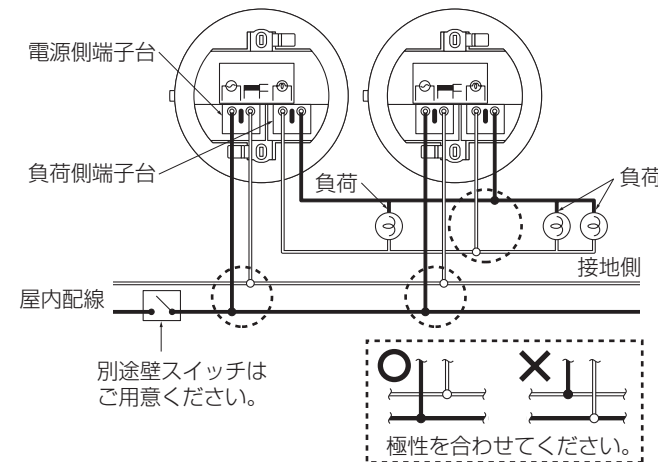
### 4 電源を接続する

- 必ず電源を切ってから作業してください。
- 適合電線を使用しストリップゲージにあわせて段むきしてください。
- 端子台に奥まで確実に差し込んでください。



### <同一回路に複数台接続する場合>

- 最大5台まで接続できます。但し、接続台数にかかわらず負荷は1台分の容量です。



### 警告

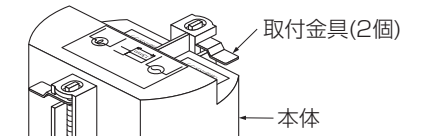
適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。  
定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。  
負荷側端子台に電源線を差し込まないでください。故障の原因となります。

### <電源線を取外す場合>

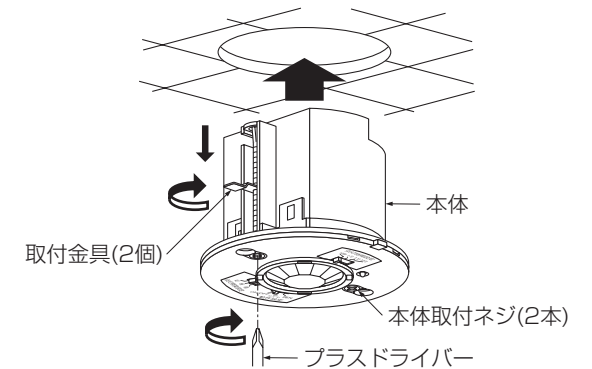
- 必ず電源を切ってから作業してください。
- マイナスドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

### 5 本体を取付ける

- 取付金具(2個)が右図のように本体内に収まっているか確認してください。



- 天井面の埋込穴に本体を押し込んでください。その後、プラスドライバーで本体取付ネジ(2本)を確実に締め付け固定してください。(本体取付ネジを締め込むことで、取付金具が開きながら下がり本体が固定できます。)



### 警告

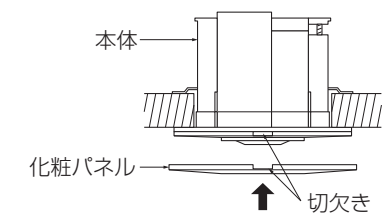
取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

### 6 使用条件を設定する

- 別紙人感センサーの取扱説明書をご覧の上、使用条件(点灯時間、点灯照度、動作切替)の設定を行ってください。

### 7 化粧パネルを取付ける

- 化粧パネルと本体の切欠き位置に合わせて化粧パネルを本体に確実にはめ込んでください。



### 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。

現象	考えられる原因	処置方法
検知範囲に人がいないのに点灯する	電源を「オン」にした直後。又は、停電から復帰直後。	電源を「オン」にした時は、約30秒間100%点灯します。その後、約30秒間のテストモード(人を検知すれば10秒間オン)のち、設定されたセンサーモードになります。
	検知範囲内に人以外の熱源などがある。 例：自動車の熱やヘッドライト 近くの道路の通行人 犬や猫などの動物 風などでよく揺れるもの(洗濯物、旗、植木など) 他の照明器具 エアコンなどの吹出口からの風 強いノイズ(無線ノイズなど) 雨や雪、風など	熱源を取り除く、又は検知エリアを調整する。 検知範囲内に左記の例のようなものがあれば、周囲の温度変化を検知し、センサーが動作することがあります。故障ではありません。
検知範囲に人がいるのに消灯する	検知範囲内で人が静止している。	静止している人は検知できません。
検知範囲が狭い	雨の日に傘などで顔や手が隠れている。	センサーは温度変化を検知するため、左記の場合は検知しにくくなる場合があります。
	マフラーで顔を覆ったり手袋をしていて肌の露出部分が少ない。	
	夏の暑い日などで周囲温度と人の温度差が少ない。	
点灯時間がおかしい	エリアマスクがついている。	エリアマスクを外す。
	点灯時間が短い(約10秒で消灯)点灯時間設定つまみが「10秒」になっている。	点灯時間は「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」から選択することができます。(→「初めて使う時」をご参照ください。)
点灯時間が長い(約10分で消灯)点灯時間設定つまみが「10分」になっている。		

### クリーニング方法

- 乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくい場合は、よく絞った布で拭き取り、最後に乾いた布で拭き取ってください。
- クリーニング後、動作を確認してください。以前と動作が違った場合、再度、設定してください。

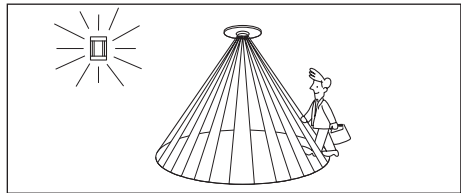
**!** 直接、センサーに水をかけないでください。故障の原因となります。

- お客様へ**
- ご使用の前に説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
  - 照明器具の取付工事は必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
- 工事店様へ**
- 施工の前にこの説明書をよく読み、お客様と打合せのうえ、お客様のご使用に合わせたセンサーの設定にしてください。
  - この説明書は必ずお客様にお渡しください。

### 人感センサー付照明器具の特徴

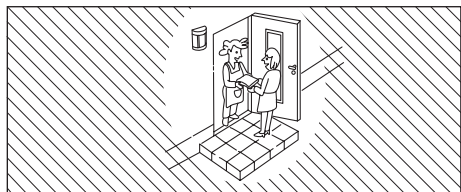
**センサー機能**

センサーが人を検知すると、ランプが100%点灯します。人がいなくなると設定された点灯時間(10秒、1分、3分、10分)経過後、消灯します。点灯保持時間が選べます。

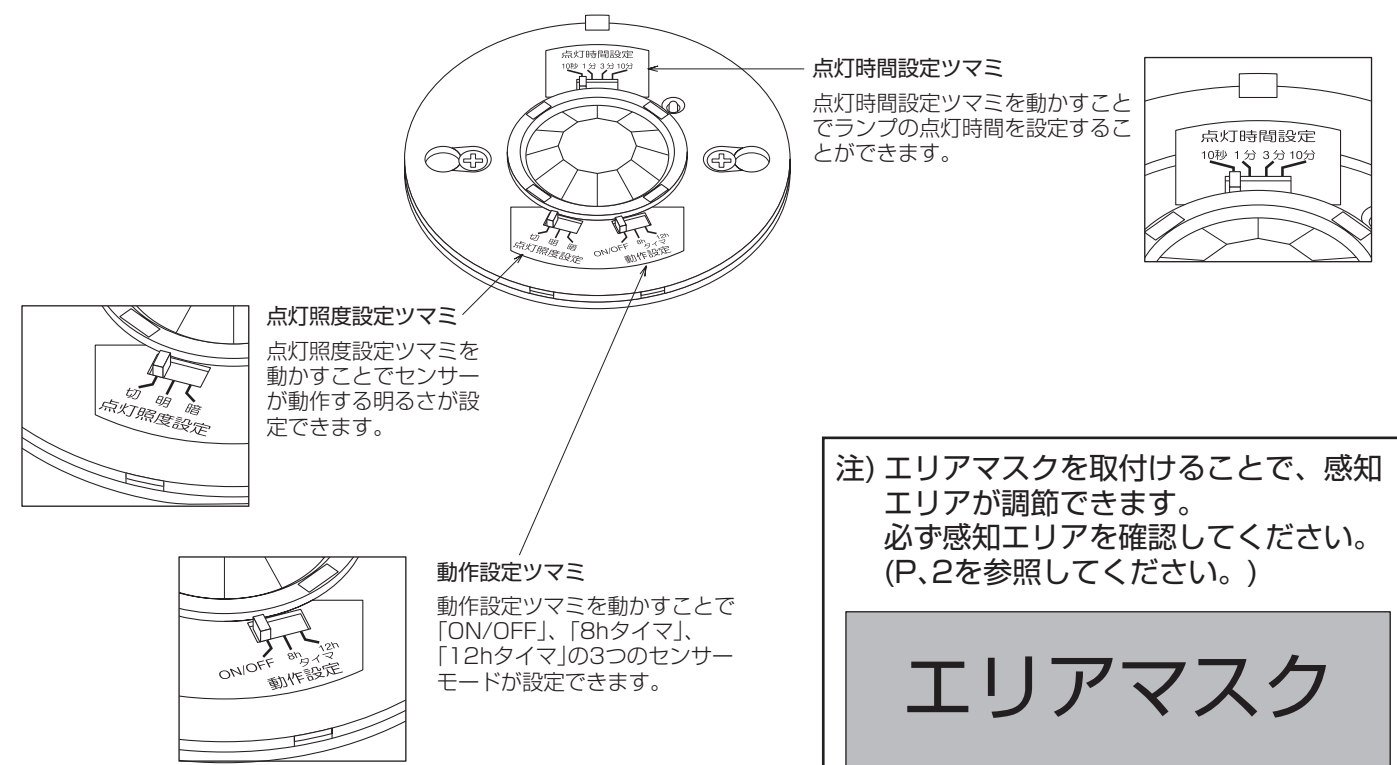


**強制ON(連続点灯)**

連続して点灯させたい時は壁スイッチをオフにして3秒以内にオンにすると、強制的にランプを100%点灯できます。解除するときは一旦壁スイッチをオフにし、5秒以上経過後、再びオンにするとセンサー動作に戻ります。



### センサー各部の名称



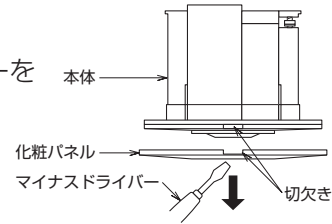
注) エリアマスクを取付けることで、感知エリアが調節できます。必ず感知エリアを確認してください。(P.2を参照してください。)

**エリアマスク  
貼り付け位置**

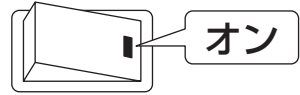
## 初めて使う時(検知範囲を確認する)

### 1. 化粧パネルを取り外す。

化粧パネルの切欠きにマイナスドライバーを差し込み、本体から取り外してください。



### 2. 壁スイッチを「オン」にする。

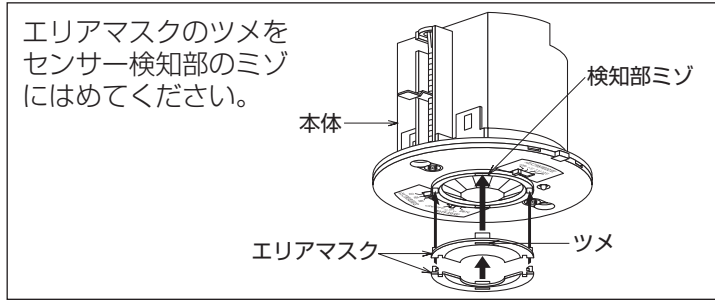


注) 壁スイッチを「オン」にした直後は、ランプが約30秒間100%で点灯(強制点灯)しますが、異常ではありません。

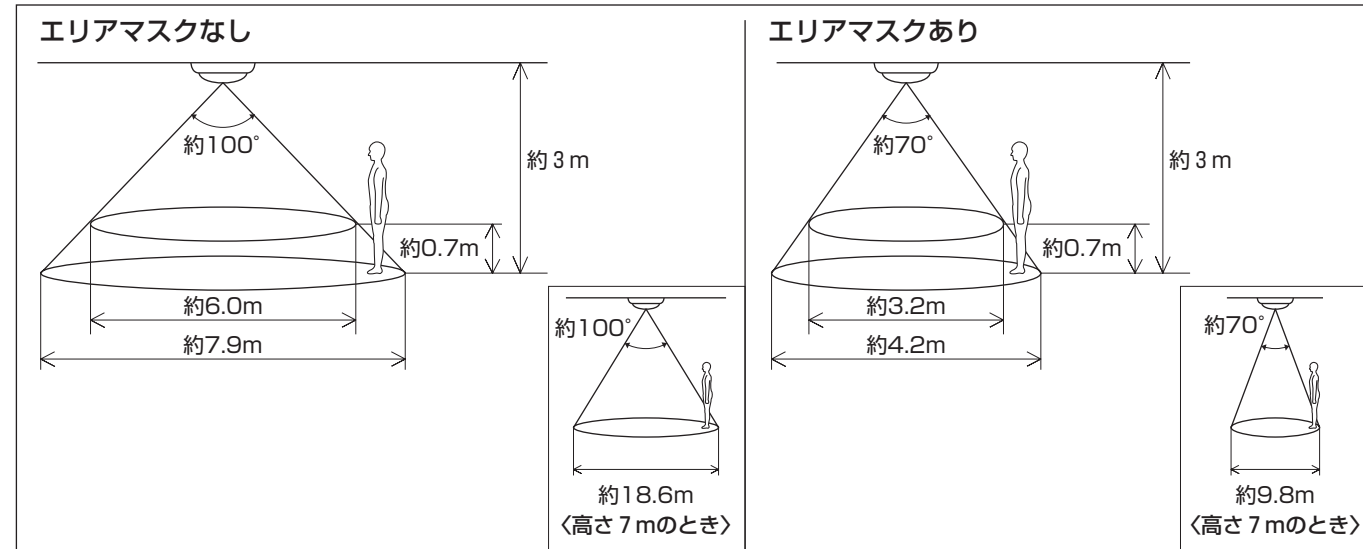
### 3. 検知範囲を決める。

強制点灯(約30秒)後、周囲の明るさに関係なく、人体を検知すると約10秒間ランプが点灯するので検知範囲を確認してください。また、検知範囲が広い場合は、センサーの検知部に「エアーマスク」を取り付けて検知範囲を調整してください。

〈エアーマスクの取付方法〉

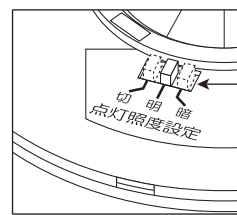


〈センサーの検知範囲〉



### 4. センサーが動作する明るさを決める。

点灯照度設定のつまみを「切」、「明」、「暗」に合わせる。



「切」、「明」、「暗」に合わせる。

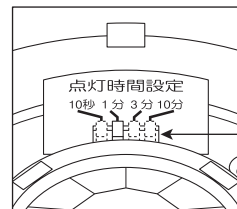
明るさに関係なく点灯させたい。(約10000ルクス以下)  
→「切」に合わせてください。

夕方やや明るい時から点灯させたい。  
また、明け方に消灯させたい。(約45ルクス以下)  
→「明」に合わせてください。

夜暗くなりかけてから点灯させたい。  
また、明け方早くに消灯させたい。(約15ルクス以下)  
→「暗」に合わせてください。

### 5. ランプが点灯する時間を決める。

点灯時間設定つまみをお好みの時間に合わせてください。



「10秒」、「1分」、「3分」、「10分」の4段階から選べます。

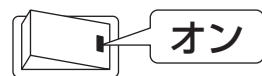
## 修理を依頼される前に

- センサーの動作がおかしい時は下記を参考に点検を行ってください。
- もし、正常に戻らない時は、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから、「オン」にしてください。
- 処置をした後でも異常があるときは必ず電源を「オフ」にし、お買い上げの販売店、工事店、または照明器具の取扱説明書に記載の当社相談窓口までご連絡ください。

現象	考えられる原因	処置方法	
ランプが点灯したままで消灯しない	壁スイッチを「オフ」にして約3秒以内に「オン」にした。(「強制ONモード」)	「強制ONモード」になっています。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。	
	「点灯時間設定」のつまみが「10分」になっている。	「点灯時間設定」のつまみを「10秒」、「1分」、「3分」にしてください。	
	明け方	「点灯照度設定」のつまみが「明」になっている。	朝、明るくなる頃までセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「暗」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)
		「動作設定」のつまみが「12hタイマ」になっている。	「動作設定」のつまみを「8hタイマ」にしてください。
	明るさとき	照明器具の取付場所が薄暗い。(昼間でも暗い時がある。)	「8hタイマーモード」「12hタイマーモード」でご使用の際は、昼間でも周囲が薄暗い時や曇り、雨などで周囲が暗くなった時は、まれにセンサーが夜と勘違いしてランプを点灯させることがあります。壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にしてください。
		昼間でも、曇り、雨などで周囲が暗くなった。	
夕方	センサーの検知部を傘、手などで覆ってしまった。	「点灯照度設定」のつまみが「切」のときは周囲の明るさに関係なく、センサーが人を検知すればランプが点灯します。「点灯照度設定」のつまみを「暗」又は、「明」にしてください。	
	「点灯照度設定」のつまみが「切」になっている。		
	暗くなりかけてからセンサーが動作する設定になっています。「点灯照度設定」のつまみを「明」にしてください。(→「初めて使う時」をご参照ください。)		
検知範囲に人がいるのに点灯しない	ランプが切れている。	新しいランプに交換する。(→適合ランプは照明器具の取扱説明書又は、照明器具に貼付のランプシールをご参照ください。)	
	ランプが緩んでいる。	ランプを締め直す。(→照明器具の取扱説明書をご参照ください。)	
検知範囲に人がいるのに点灯しない	壁スイッチがオフになっている。	壁スイッチをオンにする。	
	センサーの検知部に他の照明器具の光が当たっている。	センサーの検知部に当たる光を遮断してください。	
	センサーの検知部が汚れている。	センサーの検知部の汚れを柔らかい布で拭き取ってください。	

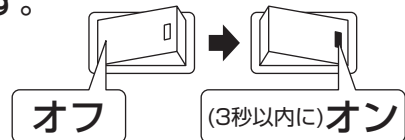
**強制ONモードの操作**

**1. 壁スイッチが「オン」になっている。**



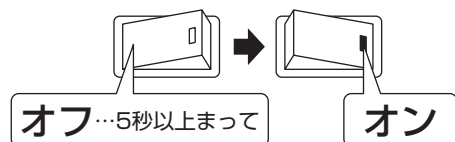
注) 壁スイッチが「オフ」の時は、「オン」にしてください。この時、約30秒間100%点灯します。(故障ではありません。)

**2. 壁スイッチを「オフ」にして、約3秒以内に「オン」に戻す。**



注) 強制ONモードは、人の有無、昼間・夜間に関係なく、ランプは約8時間100%点灯します。その後は設定したセンサーモードに戻ります。

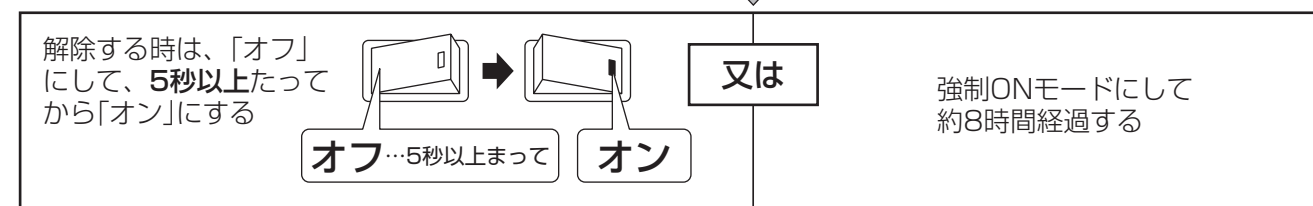
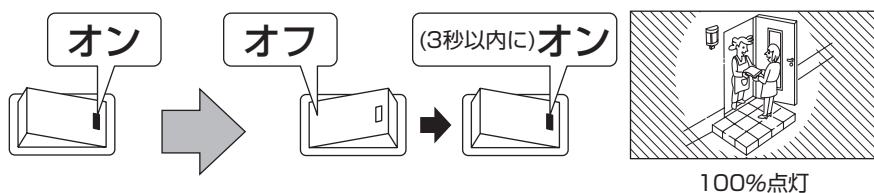
**3. センサーモードに戻すときは、壁スイッチを「オフ」にして5秒以上たってから「オン」にする。**



注) 壁スイッチの「オフ」時間が5秒より短い場合は、強制ONモードが継続(100%点灯が8時間)されますので、必ず5秒以上「オフ」にしてから「オン」に戻してください。

〈強制ONモードの動作〉

強制ONモード



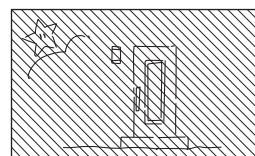
明るい時



消灯

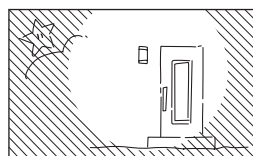
※点灯照度設定つまみが、「切」のときは、設定されたセンサーモードになります。

暗い時



消灯

ON/OFFモードに設定している場合



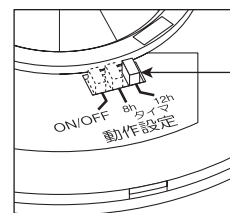
約100%の明るさで点灯

8hタイマーモード又は、12hタイマーモードに設定している場合

注) 壁スイッチを「オン」にした直後は約30秒間100%点灯し、その後、約30秒間のテストモードが終了すればセンサーモードになります。(故障ではありません。)

**6. センサーの動作を決める。**

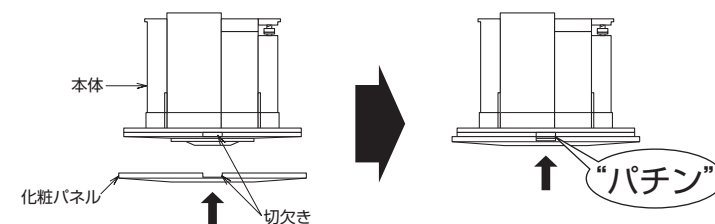
こんな使い方ができます を参考に、好みのモードに合わせてください。



「ON/OFF」、「8hタイマー」、「12hタイマー」に合わせる。

**7. 化粧パネルを取り付ける。**

化粧パネルと本体の切欠き位置を合わせて、「パチン」と音がするまで化粧パネルを押し上げて本体にはめ込んでください。



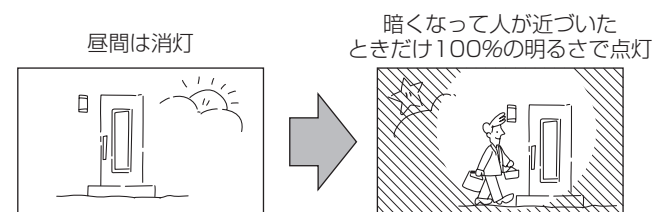
**こんな使い方ができます**

壁スイッチをONの状態でご使用ください。

「動作設定」のつまみを動かすことで「ON/OFFモード」、「8hタイマーモード」、「12hタイマーモード」で使うことができます。又、壁スイッチの操作で「強制ONモード」もできます。

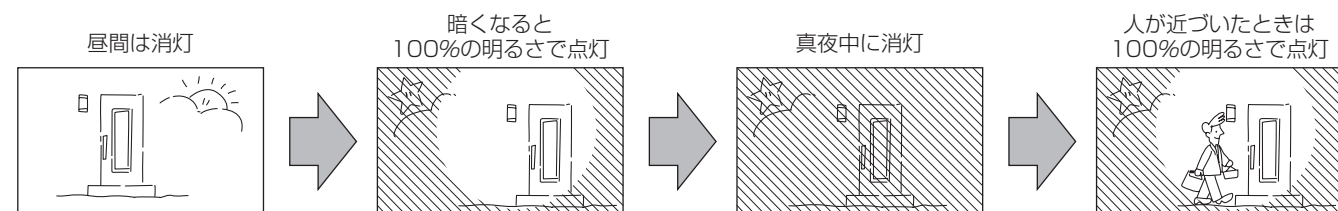
**人が来たときだけ明るくしたい**

ON/OFFモードの設定へ



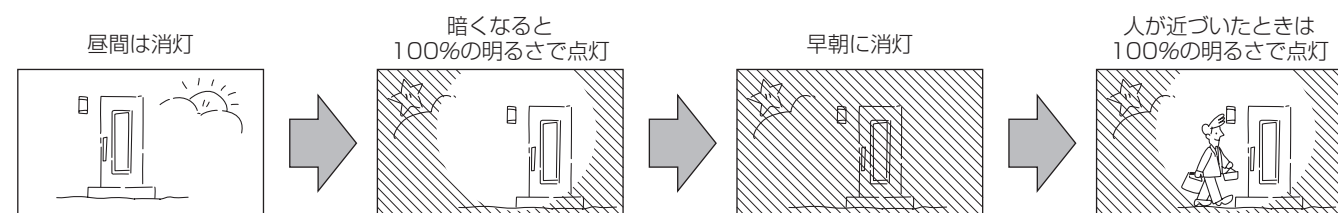
**暗くなると自動点灯+夜中は省エネ+人が来たときは明るく**

8hタイマーモードの設定へ



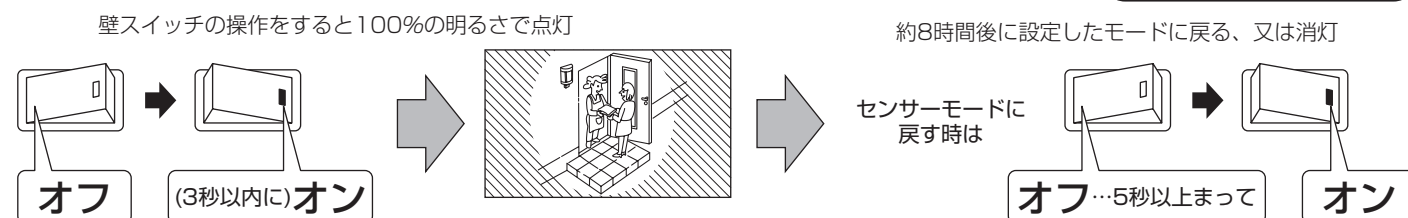
**暗くなると自動点灯+早朝まで点灯して防犯+人が来たときは明るく**

12hタイマーモードの設定へ



**好きな時に照明を点灯させたい**

強制ONモードの操作へ

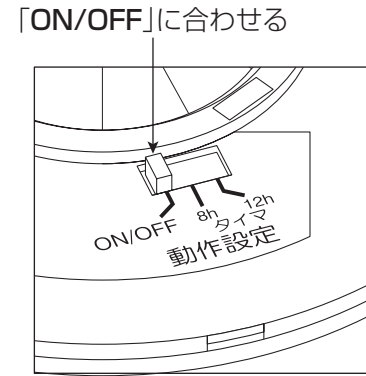


# 動作設定方法

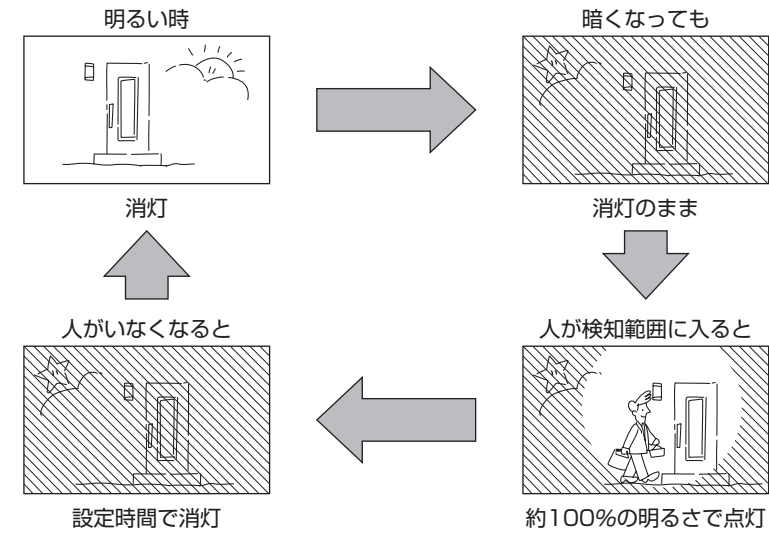
## ON/OFFモードの設定

「動作設定」のツマミを「ON/OFF」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、周囲の明るさに関係なくON/OFFモードの動作になります。



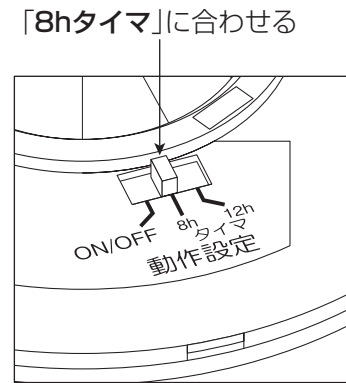
### 〈ON/OFFモードの動作〉



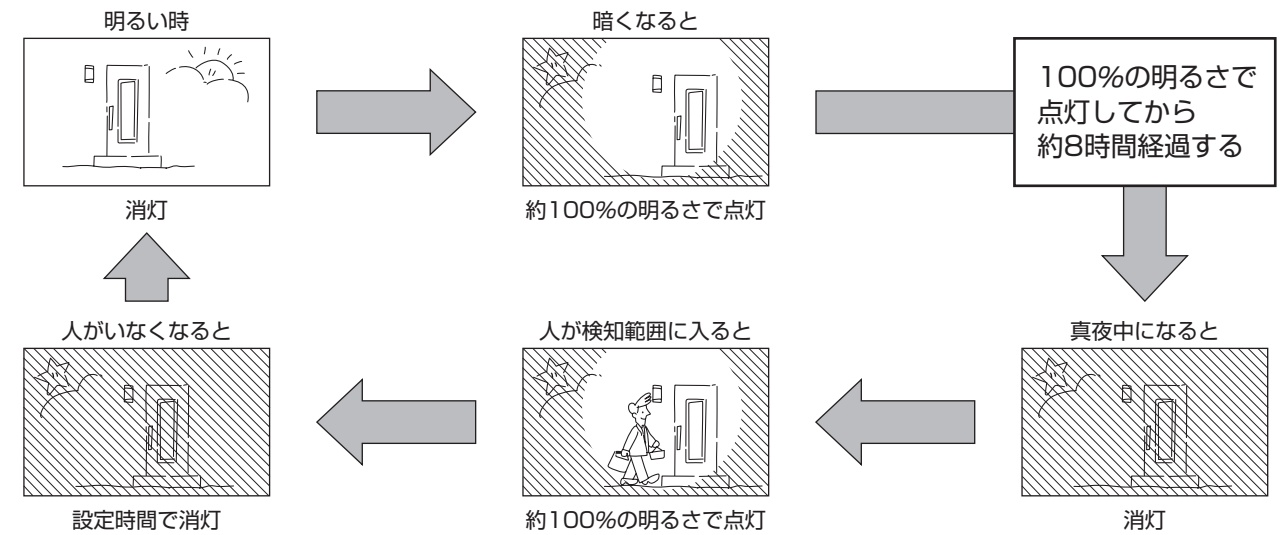
## 8hタイマーモードの設定

「動作設定」のツマミを「8hタイマ」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、周囲の明るさに関係なく始めの8時間は100%の明るさで点灯し、その後ON/OFFモードの動作になります。



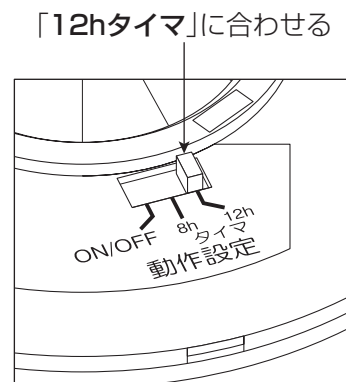
### 〈8hタイマーモードの動作〉



## 12hタイマーモードの設定

「動作設定」のツマミを「12hタイマ」に合わせる。

注) 「点灯照度設定」のツマミが「切」の場合、周囲の明るさに関係なく始めの12時間は100%の明るさで点灯し、その後ON/OFFモードの動作になります。



### 〈12hタイマーモードの動作〉

